

第23期第2回評議員会議事録

日時 昭和61年1月24日(金) 18:00~20:30
場所 東京都千代田区神田錦町 3-13 新東京ホテル

出席者

評議員：菊池，関口，高橋，増沢，安井
名誉会員：和達，畠山
日本学術会議会員：沢田
常任理事：山元，松本，竹内，吉野，浅井，河村，松野，杉村，土屋，能登，春日，田宮
理事：渡辺，立平，瓜生
監事：丸山，山田
事務局：加藤，片桐 計 27名

議事

- 山元理事長から学会運営について説明，要旨は次のとおり。
 - 会員の動向について
会員数の減少は予想より少なかった。
 - 事務の機械化について
60年暮にパソコンを購入し，機械化に着手した。
 - 日本学術会議会員に沢田会員を推薦し，指名された。
 - 天気，気象集誌を増頁し，また，内容の充実をはかっている。
 - 国際学術交流委員会の活動について
 - IAMAP'85 への若手参加者への補助
 - 基金の新設
 - 基金拡充のため一般会員の有志からの寄付を計画中
 - 中国気象学会代表団を昨秋迎え，学術交流および友好親善の実をあげた。
 - 本年4月インド気象学会主催の長期予報100年記念国際セミナーを後援し，2名の Key note speaker を派遣する。
 - IAMAP'89 の招致に努力したがイギリスに決定

した。'93 については日本での開催が期待されている。

- 今年8月開催の数値予報シンポジウムを後援し，そのプロシーディングスの発行を引き受ける。
 - 名誉会員として高橋，吉武，磯野の3会員を5月の総会で推薦したい。
 - MAP(中層大気国際共同観測計画)が昨年12月で終了し，WCRP(気候変動国際共同研究計画)を実施すべく努力している。
- ### 2. 評議員からの意見要望
- 会員の所属先などを分析して，会員増の可能性を検討したい。
 - 「天気」を魅力的なものにし，会員であるメリットが何かあるようにするよう努力したい。
 - 高等学校卒業程度の人でも対応できるレベルのものも含めるようにし，また，地区の活動を充実させたい。

和達清夫名誉会員文化勲章受章祝賀会

評議員会に続いて和達名誉会員の文化勲章受章をお祝した。畠山名誉会員が「受章おめでとうございませう。先生が受章されて，われわれも肩身を広くして歩けるようになりました。」とお祝を述べられた。

和達名誉会員は「受章は身にあまる光栄です。いましみじみ感じるのは，学問もさりながら人と人との心のつながりが大切であり，また，生涯を通じて積分したような仕事をしていきたいということです。『他国の人がはいた息を，他国の人がすう』と荒川さんが書いておられるように，気象に国境はありません。気象学会も心を合わせて，日本にある学会であっても，日本だけの学会でなく，国際的なつながりをもって，世界にはこる学会となるよう希望します」と述べられた。

第23期第15回常任理事会議事録

日時 昭和61年1月24日(金) 13:30~16:40
場所 気象庁観測部会議室
出席者 山元，春日，河村，土屋，浅井，能登，田宮，松野，竹内，杉村，松本，吉野

議事

審議事項

- 予算について
会計担当理事から刊行物などの価格改訂(案)が示され，審議の結果，一部修正のうえ承認された。なお，大会予稿集，投稿料，別刷代などの改訂単価